

まちの話題



1/6

新春を祝い
新年交礼会を開催

町と町議会が主催する「新年交礼会」が総合福祉センターで開催され、十勝選出の国会議員や北海道議会議員をはじめ、町内外の団体代表など約120人が出席しました。冒頭に小野町長が「今年は4月に新しい道の駅がオープンする。町の更なる飛躍に向けてまい進していきたい」と決意を述べ、高瀬町議会議長は「町と議会が切磋琢磨しながら、町民の福祉向上に努めたい」とあいさつしました。



1/7

町民の生命を守る
決意新たに

音更町消防団（有賀克幸団長、団員147人）は、新年を迎え団員の士気を高めるため「消防出初式」を開催し、団員や来賓など110人が参加。有賀団長の訓示、小野町長のあいさつ、高瀬町議会議長の祝辞の後、永年勤続団員23人を表彰しました。最後に有賀団長が「町民の生命、財産を守るため、団員一丸となり、災害に強く、安心して暮らせるまちづくりに取り組む」と力強く決意表明しました。





初めてのスカッシュ体験



スカッシュ教室が昭和公民館で開催され、約50人が参加しました。SQ-CUBE横浜の渡邊祥広さんや音更町出身で元プロスカッシュプレイヤーの山崎真結さんなどを講師に招き、ルールの説明や実技指導を受けました。今回初めてスカッシュを体験した参加者は「思っていたよりも激しい動きだったが楽しかった。また参加してみたい」と話していました。



道の駅おとふけに オールドトラクター寄贈



鎮鍊在住の茂古沼^く一さん（83）（写真右）は、今年4月の道の駅おとふけ「なつぞらのふる里」のオープンに向け、所有するオールドトラクター2台を展示用として町に寄贈しました。茂古沼さんは「昭和30年代後半のトラクター。今も稼働する状態でも思い入れがある。訪れた人が十勝・音更の農業の歴史に触れてもらえれば」と話していました。



音更高校図書館が園児に クリスマスプレゼント



音更高校図書館（部員7人）の生徒が、ブックサンタ事業として学校祭で開催した古本市の売り上げを使い、5カ所の幼稚園・保育園に本の寄贈を行いました。木野北保育園にサンタの帽子を被って訪れた吉田基竜^{きりゅう}さん（3年）と伊藤^{いとう}心^{こころ}さん（1年）は玄関で出迎えた園児たちに本とメッセージカードを手渡し、「何度でも楽しく読んでほしい」と話していました。



おとふけ大袖振大豆で はじめてのみそづくり



初心者向けのみそづくり教室がふれあい交流館で開催され、6人が参加しました。同館の技術アドバイザーの指導で、よく煮てつぶした大豆にこうじなどを入れ、よく混ぜ合わせて丸めたものをみそ樽に投げ入れるように詰めていきました。参加者は「前から興味があり参加した。力がいるので大変だったが楽しかった。出来上がりが楽しみ」と話していました。